

深田久弥山の文化館開館二十周年



深田久弥 山の文化館だより

令和4年
秋号

深田久弥 山の文化館
〒921-0067
石川県加賀市大聖寺春場町十八
TEL 〇七六二-七二一三三三
FAX 〇七六二-七二一三一八



オープニングセレモニー（平成四年十二月二十三日）

向かって左から、御子息深田沢二さん、深田森太郎さん、久弥の弟の深田弥之助さん、当時の大幸市長、高田前館長の顔も見える



資料文献室（「九山山房」）

より待望の資料文献室「九山山房」が完成したことが大きな成果である。一万点を超える書籍、資料を手に取って見ることが出来る国内有数の施設となった。まだまだ、整理などが必要な部分もあり、検索方法の改良も必要なのだが、二十年の歩みを振り返る写真展が、十月二十二日より年末まで聴山房で開催される。

令和四年十二月二十三日は、平成十四年十二月二十三日に山の文化館が開館してから二十一年目の節目の日である。正面の大イチョウ、スダジイ、タブ、クスノキなどの大木に囲まれた周りの風景はあまり変わらない。しかし、進化し続ける施設でありたいという願いは少しずつ達成されつつあるようである。開館当時の閑散とした石蔵展示室は展示ケースが増設され形を成し、映像装置が設置された。そして、廊下には百名山すべての写真が、百名山の配置地図とともに展示された。何

緑に囲まれた山の文化館の門（平成十年頃）



加賀市ふるさとの自然ふれあいコンクール 入賞作品決まる

第十七回コンクルールの作品募集を行ったところ、大変多くの作品を応募して頂きました。画家の長谷川清氏と写真協会の宮下一夫氏のお二人に審査をして頂き、入賞作品が決まりました。

加賀市長賞、加賀市教育委員会賞、深田久弥山の文化館賞各一点と、佳作十一点、入選十三点が選ばれました。これらの入賞作品は九月二十四日（土）から十月十日（月）まで深田久弥山の文化館聴山房で展示されます。



加賀市長賞 清水屋桃子さん（錦城東小六年）



教育委員会賞 塩崎千鈴さん（庄小四年）



山の文化館賞 辻上幸宗さん（分校小三年）

久弥と五万分の一地形図と赤鉛筆と

その19

先日、『山岳展望』に収録されている「木曾駒ヶ岳」の文中に「駒ヶ岳がそのピラミダルな頭を出した」という一節があるが、そのピラミダルな姿を見たいと木曾駒ヶ岳に行く方に同行した。山から帰ってからこの文章に対応する地形図「赤穂」と「上松」を出してみた。これらは地勢図「飯田」の二番と六番である。この二枚にわたって赤鉛筆の線が引かれている。そのラインは将棊頭山しょうぎがしらやまから木曾駒ヶ岳を経て木曾谷の上松へと引かれている。

この文章は「伊那谷と木曾谷とを屏風のように仕切って、蜿々えんえんと連なっている木曾山脈・・・」と始まっていて、人文的、地勢的な木曾山脈の解説が続く。そして、紀行部分は「六月二十三日（注）の朝八時頃、僕と谷口豊三君は伊那電鉄の伊那町入船駅で降りた。」と始まり、小黒川の内ノ萱から大芹沢、大樽小屋、将棊頭山と辿るのだが、その間には「大芹沢」という三文字の書込みがあるだけである。その日は、将棊頭山の伊那小屋に泊まっている。翌日は赤鉛筆のラインの通り、将棊頭山から木曾駒ヶ岳に行き、そこから中岳を経て宝剣岳を往復している。木曾駒ヶ岳山頂に戻るとちょうど晴れ渡り、写真撮影と

周りの山の展望を楽しんだあと下山した。しかし、木曾駒ヶ岳から上松への下りは、膝の具合が悪くなり難渋したようである。
(注) この山行は昭和十一年六月である。



ピラミダルな木曾駒ヶ岳
(馬の背付近より)



この一冊

信州大学中央図書館に山岳文献の一大コレクションがある。その名を「小谷コレクション」と呼ぶ。このコレクションの蒐集者小谷隆一氏の著作を集めた『山なみ帖 その後』と題する一冊がある。旧制松本高校卒業時の寄書き帖の思い出から始まり、登山や、文献に関するものが収録されている。最後に収録されている「山書の楽しみ」と題する文章にコレクションに対する氏の熱い思いが綴られている。

● 間こう会予定

新型コロナウイルスの流行の中で、間こう会はリモートで二会場形式にして実施しています。
(聴講無料)

午後一時半より三時
深田久弥山の文化館聴山房他

■ 十月十六日(日)

演題…自然解説における雑学(科学)
講師…奥名正啓氏(自然解説員研究会会長)

■ 十一月二十日(日)

演題…福井ゆかりの作家と山の文学
講師…岩田陽子氏
(福井県ふるさと文学館学芸員)

■ 十二月十八日(日)

演題…加賀市の絶滅危惧植物
講師…山田利明氏

● 読書会のお誘い

『日本百名山』など深田久弥の作品を読んで、山やその自然、文化について語りあっています。お気軽にご参加下さい。
(参加無料)

十月二十一日(金)

『日本百名山』より「光岳」

十一月二十五日(金)

『日本百名山』より「白馬岳」

● 場所…深田久弥山の文化館
● 時間…午後一時半より三時

* 詳細はホームページをご覧ください

● 編集後記

異常に暑く不順な夏でした。秋とは言え、まだ暑い日が続いています。もうすぐイチヨウの黄葉の季節ですがどうなるのでしょうか。枝には大変多くの実がついています。いよいよギンナンの季節です。

各種お知らせ詳細はホームページをご覧ください

深田久弥山の文化館ホームページ <http://www2.kagacable.ne.jp/~yamabun>